

# 平成30年度 「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」 活動推進実践報告書

## 1 学校の概要

- (1) 学校名 所沢市立山口中学校
- (2) 学級数 (平成30年5月1日付け)  
1学年：5学級 2学年：4学級 3学年：5学級 計14学級
- (3) 生徒数 (同上)  
1学年：176人 2学年155人 3学年：162人 計493人
- (4) 教職員数 (同上)  
27人

## 2 「私たちのネット利用ルール」づくりについて

### (1) 取組内容 (決定までのプロセス)

インターネットの利用については、本校においても喫緊の課題である。インターネットを介してのトラブルは毎年数件あり、学校として把握することが難しい。そこで、生徒自身がインターネットの利用について自ら考え、自ら作成したルールを守ることで適切にインターネットの利用ができるよう今回の取り組みを決定した。



### (2) 全校への周知の方法

集会で「私たちのネット利用ルール」づくりについてアンバサダーからの趣旨説明、各クラスでのワークショップで取り組んだ結果を廊下掲示、策定したルールを掲示物としてルール掲示を行う。

### (3) 私たちのネット利用ルール

#### 第一条 互いに助け合う

- ① ネットいじめやネットでのトラブルを見つけたら相談しやすい友達と一緒に身近な大人に相談する。
- ② 一人で抱え込まない。自分がピンチになる前に行動する。
- ③ 誹謗中傷しない。相手の気持ちを考え、大事なことは口で伝える。
- ④ もし傷つけてしまったら、きちんと謝る。

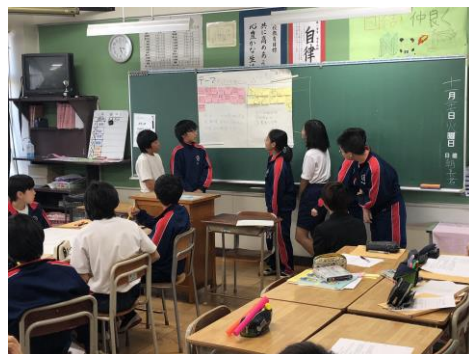
#### 第二条 一人一人が宝物

- ① 投稿する際には写っている人に許可をとり、個人情報が入っていないことを確認する。
- ② 写真や動画からの個人情報の流失を防ぐため、モザイクをかけ、法に触れるもの、炎上しかねないもの、許可のないものは絶対に投稿しない。位置情報もOFFに。
- ③ 無理に許可はとらない。イヤだったら「イヤ」ということが大切。
- ④ SNSや動画投稿サイト等に写真や自分の作品をどうしても載せたい時には家族や学校など周囲に迷惑をかけないようにする。



### 第三条 自分をコントロールする

- ①インターネット依存、スマホ依存にならないため我慢する。
- ②ネット投稿やLINEでのやりとりでの冗談は、冗談ですまされない。
- ③ネットで掲載された情報は消えない。
- ④本当に無料で利用できるものなのかよく考える。
- ⑤夜遅くの利用は危険がいっぱい。
- ⑥「送信」「OK」「はい」「Yes」をクリックする前に一度考えて。
- ⑦インターネットやスマホの使い方については一度家族で話し合う。



### 3 活動推進校独自の取組（広報活動）について

#### (1) 活動内容

県立所沢高等学校の生徒10名を山口中学校に招き、ワークショップを開催した。

#### (2) 実施期間

平成30年11月27日

#### (3) その他

保護者会で取り組みについての発表を行う予定である。(3/19実施)

### 4 活動の成果と課題

#### (1) 成果

「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」の取組を通して、生徒一人一人がインターネットの利用について真剣に考えることができた。また、他の生徒の意見を聞くことで、今まで知らなかった情報を共有し、互いにインターネット利用に関する知識を高めることができた。さらに、ワークショップに参加し、自分の意見をしっかりと述べたり進んで発表することで、他に情報発信する力がついた。

#### (2) 課題

インターネットの世界はどんどん進化しており、教職員だけでは対応できない。学校・家庭・地域が協力して取り組み、生徒たちをインターネットの危険から守らなければならない。本年度は地域に情報発信することができなかったので、今後は地域への発信の仕方を考えていく必要がある。また本年度、県立所沢高等学校とコラボレーションをして取り組むことができたが、この取り組みを来年度以降に生かせるよう、例えば小学校や大学との連携を視野に入れて取り組み、さらにネット利用のルールを進化させていきたい。